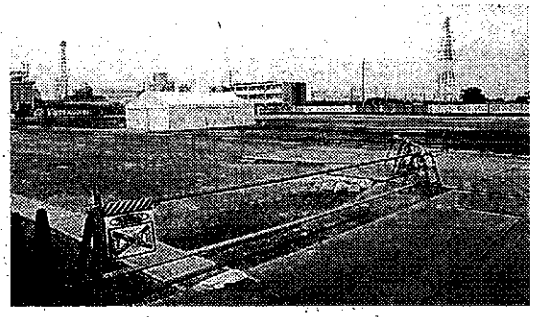
来夏完成 運輸倉庫 大型拠点



【滋賀】手原産業倉庫（今井潤一社長、滋賀県野洲市）は、栗東市に栗東物流センター（仮称）を新設する。BtoC（企業―個人）物流に対応した戦略的スルー型拠点で、今月着工し、来年8月の完成を目指す。

敷地面積2万400平方㍍、鉄筋コンクリート造り3階建てで、延べ床面積は2万1400平方㍍。名神高速道路・栗東インターチェンジに近く、京阪神と中京の大都市圏まで1時間でアクセスできる。西日本をカバーする独自のネットワークを駆使し、小ロットの荷物から高品質でスピーディーな物流を提供する。

12年前に大阪市大正区に同規模のセンターを備えた

京阪神と中京の大都市圏まで1時間でアクセス可能（建設予定地）

買い物客へ啓発グッズ

京ト協 環境キャンペに協力

【京都】京都府トラック協会（金井清治会長）は1日、近畿トラック協会（坂本克己会長）が取り組む環境キャンペーンの一環として、京都府と京都市主催の京都・セーフティー&エコドライブキャンペーンに参加した。

府では、秋の観光シーズンで自動車利用の増える11月の1か月間を「京都・セーフティー&エコドライブキャンペーン」と定め、府内の自動車関連団体に協力を要請している。

近ト協でも毎年11月は、2府4県のトラック協会が統一活動を行う期間として位置付けており、それぞれ街頭開発活動や環境と物流をテーマにしたフォーラムを企画している。

京ト協は昨年から府、市とタイアップし、エコバッグとエコドライブのポイントをまとめたリーフレット

などをセットッズ1００意。浅井孝司三常務と竹谷が府の職員や関連団体職員イオンモール

非会員に会合参加

和ト 青協 関心集める工

【和歌山】和歌山県トラック協会青年協議会（古沢幸夫会長）は5日、役員会を開き、会員の増強につなげる取り組みの一環として、未加入の若手経営者および管理者に会合への参加を促す方針を示した。

古沢会長が「年々、会員数が減っており、このまま何もしないとジリ貧になってしまう。加入メリットをもっと高めるなど何らかの手立てを講じない」と危

メンバーの相談から仕まで発展させ共有している参加のきっか

正規雇用労働者育成奨励金

運転者研修で活用

ティービー

【京都】ティービー（上坂良秋社長、京都府京田辺市）は下期に、厚生労働省の「正規雇用労働者育成支援奨励金」制度を活用したドライバー研修を行う。研修企画は、人材育成プログラム開発やコンサルティングなどを手掛けるメンタルリンクエイド（和田昌子社長、京都市下京区）に依頼。物流技術研究会（宮本秀俊会長）と山城自動車教習所を使った研修プログラムを編成した。

座学や実技を計画

同奨励金は、正規雇用の労働者に対して一定の職業訓練を実施した事業主に対して支給されるもの。一人当たり20万円が上限で、年度限度額は1事業所500万円。ティービーでは325万円の補助を受けた。

16日に第1回目の研修会を開催。物流技術研究会で実施している危険回避や車両感覚、トラックの死角体験などを計画する。座学は、宮本会長の講演をはじめ居眠り運転防止対策、プロドライバーとして知っておかなければならないタイヤの知識について学ぶ。来年4月に予定している第2回目には、日常点検、狭路バック、事故事例研修を盛り込んだ。

山城自動車教習所では、運転技能評価システム「Obiet」を基に、運転中の動作を客観的に診断。ドライバーの癖を見付けるほか、スキルアップトレーニングも取り入れ、安全運転に役立てる。

丸山利明取締役業務部長は「全員を集めて研修するとともに、毎日の点呼時を利用した1分間教育のようなものも今後考えていきたい」と話している。

（落合 涼二）

奈ト協 省

【奈良】奈協会（藤岡修日、省エネ運

とらっく近畿
大阪支局 TEL 06(6779)5655 FAX 06(6773)5251

大学生招き安全研修

大型車の疑似運転を体験

遠州トラック

遠州トラック（澤田邦彦社長、静岡県袋井市）は7日、常葉大学の浜松キャンパス（浜松市北区）の学生ら12人を招き、安全研修会を開いた。

柴崎孝夫准教授が申し込み、実現。トラック運送事業の仕事内容を学ぶとともに、ドライブシミュレーター体験やドライブレコーダー（DR）の記録映像を使用した講習など、半日のKYT（危険予知トレーニング）研修を受け、安全運転に必要な知識や運転中の心構えを学習した。

シミュレーターは参加者全員が挑戦。急に飛び出す人への対応や雪道の運転など、繰り出される障害に苦慮しながらも大型車のドライブを体感した。また、DRの映像講習では、同社の鈴木正明上級指導者らが、事故映像を基に、発生原因や回避方法を解説。

澤田社長は、東日本大震災で支援物資の物流を担った運送事業者の活躍を説明しながら、「経済活動の中で大変重要な役割と責任を帯びている。日々安全第一に業務を行う我々の活動をよく知ってもらい、これからの勉強や安全な生活に生かして欲しい」と呼び掛けた。

今後も近隣住民などへの見学会や安全研修会を受け入れ、地域貢献活動に積極的に取り組む方針。（奥田 和彦）

ドライブシミュレーターを体験した常葉大の学生ら

ソーラー発電所起工式

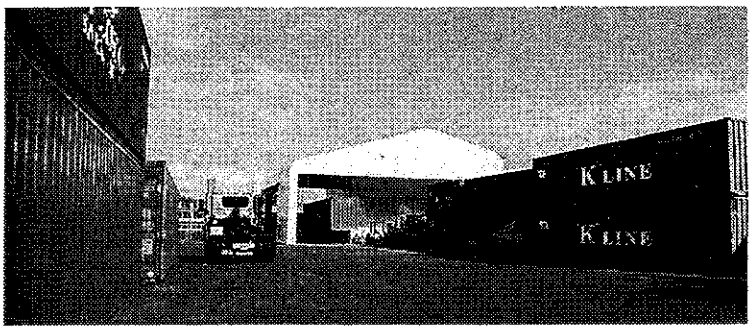
全量、東北電力に売電

センコン物流は6日、宮城県大衡村に建設するソーラー発電所の起工式を行い、工事の安全と早期完成を祈った。これまで自社倉庫の屋上などにソーラーパネルを設置して再生可能エネルギーへの取り組みを進めてきたが、大規模太陽光発電所（メガソーラー）の建設は初めて。

東北自動車道・大衡インターチェンジと国道4号に隣接する同村中山地区の山林（一部農地）4・3ヘクタールを開発し、ソーラーパネル9120枚を設置。出力は1500キロワット。東北電力に売電代を含め、総投資5000万円。は来年3月末。

これまで仙台ティクスセンタ

併・買収）な安定的収益向上きたい」と述べ営業利益は12



盛岡貨物ターミナル駅構内で
は海上コンテナが山積みに

JRFI

国際海上コンテナ専用列車取扱実績（4～8月）

年度	2011	12	13
輸入（東京→盛岡）	1,842	2,674	2,516
輸出（盛岡→東京）	1,930	2,542	2,289
合計	3,772	5,216	4,805

注：単位はTEU（20トンコンテナ換算）

牧草輸入、けん引

海コン輸送が堅調

ジェイアール貨物・インターナショナル（JRFI、縄野克彦社長、東京都大田区）が取り組んでいる、東京と東北地方を結ぶ海上コンテナ貨物輸送が堅調だ。

同事業は、2010年3月から全国で唯一の国土交通省のモデル事業として始まった。東京貨物ターミナル駅―盛岡貨物ターミナル駅を1日1往復運行。京浜港の活性化やモーダルシフトを目的として新たな専用列車を走らせ、ストックヤードや通関、小口貨物の積み替え機能を整えている。

盛岡駅で海上コンテナ貨物

物に対応するため荷役内デポも設けた。

東日本大震災の被害を乗り越え、貨物量が順調に推移した結果、12年3月からは同社が運営を引き継いだ。4～8月の累計輸送実績は、牧草の特需があった昨年には及ばないものの、モデル事業として行われていた11年4～8月の実績よりも27%増加している。牧草の輸入が業績をけん引。住宅建材などの木材、家庭

維貨り動きの頂調だ。

同社の盛岡ICD事業所の西川修三所長は、今後の見通しについて「料金設定やリードタイムなどが評価されている。付加価値として荷役作業による差別化とコンテナ管理を強化したい。特殊な海上コンテナの荷下ろし、空コンテナを回送するコストを削減するメリットは大きいはず」と意欲をみせる。

同事業所は、鉄道貨物利用の効果が高まる東京から500キロ超の場所に位置し、トラクタヘッド6両とシャシー8両を常備。長旨

地への輸送体制も整東北の物流基地としな役割を果たしてい に40トンコンテナは、でのみ取り扱いが可 岡と郡山には、専用 機も配置されている

東京―盛岡を14 行。経由する宇都宮 ーミナル駅（栃木県 町）と郡山貨物ター 駅（福島県郡山市） ぞれ4両、仙台貨物 ナル駅（仙台市宮城 で2両を組み入れ、 数24両編成で往復 る。1両に40トン1 なら2本が積載でき

（今公